

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		商店街振興対策			款	3	項	5	目	1	事業	2	整理番号	91			
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	商工係			連絡先電話番号	3074			昨年度整理番号	113	枝番号		
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり											予算事業区分				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 商店会等				根拠法令等	(1) 杉並区元気を出せ商店街事業補助金交付要綱 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱										
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 消費者のニーズの変化により、厳しい経営状況を強いられている区内商店街を魅力あるものとし、また買い物の場から地域住民の多様なニーズを満たせる暮らしの場とすることで、商店街への集客の向上を図るとともに、地域経済の活性化を図る。				活動指標名(式)	(1) イベント補助金交付商店会数 (2) ホームページ開設補助交付商店会数										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 商店会等が取り組む各種事業に対する必要な指導・補助の実施 商店会等がホームページ開設に対する経費補助				成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) イベント開催件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) ホームページ保有区内商店会数 算定式・指標の説明等										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率	計画に対する20年度の達成率				
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度				
指標	活動指標(1)		件	85	99	93	101	96	98	105	91.4	95.0					
	活動指標(2)		件	1	2	1	2	2	2	3	66.7	100.0					
	成果指標(1)		件	85	99	93	101	96	98	100	96.0	95.0					
	成果指標(2)		件	25	30	26	28	28	30	33	84.8	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	104,134	131,863	87,657	126,288	110,140	236,945	20年度予算執行率%			87.2				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費		千円	0	2,760	2,760	4,865	4,853	4,840	平成21年度計画の事業費は、「プレミアム付商品券」の予算により、前年度比約88%増となっています。							
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.49 0.00	2.49 0.00	2.52 0.00	2.39 0.00	2.54 0.00	2.39 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	22,559	22,759	23,033	21,630	22,987	21,630								
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費 + +		千円	126,693	154,622	110,690	147,918	133,127	258,575								
	単位あたりコスト (-)÷		円	1,490,506	1,561,838	1,190,215	1,464,535	1,386,740	2,638,520								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等		千円	/	/	/	0	0	0							
都からの補助金等		千円	40,968	52,039	43,441	50,539	47,769	50,539									
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0	0									
特定財源計 + + +		千円	40,968	52,039	43,441	50,539	47,769	50,539									
差引:一般財源 -		千円	85,725	102,583	67,249	97,379	85,358	208,036									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 91

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	元気をさせ商店街(イベント)事業補助金	96
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	新・千客万来・アクティブ商店街事業補助金(新規・2年目)	4	件	14,018
	経済交流事業補助金	7	件	1,304
	ホームページ開設補助金(開設・更新)	3	件	1,802
	その他(商店会等に対する各種補助及び事業費)	9,580		
(2)事業実績	イベント事業は、補助対象事業を拡大し、「共催」事業を加え、合計3事業まで実施できるようになりました。その結果、商店街同士の連携が広がりました。このほか、商店街の後継者を育成するため「若手リーダー養成セミナー」を開催し、講演会では、各商店街や地域住民など約800名の参加者を集め、好評を博しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	今後の予測
	新規にイベント事業に取り組む商店街が増え、また趣向を凝らしたイベント事業を実施する商店街も増え、補助申請額は、年々増加傾向にあります。その他の補助事業は例年極端な増減はなく、有効に機能していると思われます。	イベント事業については、補助の対象とならない経費を多く設けており、規制を緩和してほしいとの声が聞かれます。また、補助事業は概ね実績払いであるため、規模の小さな商店街は取り組みづらいとの要望があります。	平成21年度より100万円以下の規模のイベント事業について、補助率の増加を図ったため、今後申請件数の増加が見込めます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	魅力ある商店街を形成するためには、ハード、ソフト正面の整備は欠かせません。しかし、財政規模の小さな商店街は自らの負担で取り組むことが容易ではなく、本事業の果たす役割はとも大きいといえます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	商店街として、事業に取り組むことにより、周囲にその商店街の存在をアピールすることができます。また、商店街が一つになって事業に取り組むことにより、活動が活発化し、組織力の強化を図ることができます。 補助金を有効活用できるよう、商店会と連携を深め事業内容を精査します。状況によってはアドバイザー派遣などを行い、具体的な計画立案の助言・商店街の分析・組織の改善についてのフォローを実施します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	補助金終了後も事業を継続して実施するため、補助期間中から商店会の負担額を設定し、事業運営を全て補助金に依存することのないよう指導します。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	商店会に対し計画段階からコストなどを最小限にするよう指導していきます。また、契約金額が大規模なものについては、見積・入札による価格を徹底させ、少しでもコストを下げるよう指導します。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	イベント事業は多くの商店会から申請があり、商店会の組織力強化や地域とのつながりの強化に役立つ事業です。具体的には、商店会の事業実施を通じての会員間に協力関係ができ、地域住民が商店会主催のイベントに参加することにより、商店街の存在を身近に感じるPR効果をもたらしています。その効果を一過性に終わらせないように、商店会と地域の良好な関係を構築することが必要です。また、イベント事業自体も長く継続するため、補助金がなくとも商店会単独で事業を実施できるような工夫を商店会に対し求めていきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 20年度は、新規に「商店街再生支援モデル事業」の実施に取り組み、外部の専門家による活性化事業の企画提案を行いました。提案された事業案は、今後、新・千客万来・アクティブ商店街事業の実施等に活用していきます。								
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 小規模の商店街を支援するため、100万円以下のイベント事業の補助率の改正を行い、より取り組みやすい区内商店街の活性化を図ります。悪化する経済状況に対する対策の一つとして、杉振連と連携して、総額11億円プレミアム付区内共通商品券(なみすけ商品券)を販売します。また、商店街が商品券の回収機会を増やすため、PR事業等への助成を行います。								
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 商店街の活性化事業を実施するには、多くの時間と労力が必要となるため、組織力の弱い商店会では取り組むことが困難です。活性化への取り組みを模索している商店会には、「商店街アドバイザー」を派遣して活性化策の検討を支援し、組織力の強化を図っていきます。									
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由 イベント事業の制度改正により、商店会の実施件数及び補助金額が増加しているため、平成22年度は件数および補助金の増加が見込まれます。								

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		商店街環境整備			款	3	項	5	目	1	事業	3	整理番号	92					
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	商工係			連絡先 電話番号	3078			昨年度 整理番号	114 枝番号					
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり			予算事業区分														
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策 番号	2	施策 番号	1	事業 コード	2	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠 法令 等		(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱												
	商店会等																		
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	商店街の装飾灯や防犯カメラ、街の駅などの施設整備を進めることにより、美観が向上し、安全・安心な魅力ある商店街を実現する。それにより商店街の集客力が高まり、商店街の発展に繋げる。			活動指標名(式)		(1) 装飾灯建設助成商店会数 (2) 電気料助成商店会数												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区有灯の代替として商店会が設置する装飾灯の新設や代替に係る費用、装飾灯の維持管理費(電気料、修繕費、美化費)に対する助成 商店会の設置する防犯カメラ等の施設整備などに対する助成			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 装飾灯建設商店会数に対する助成商店会数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 助成対象商店会数に対する助成商店会数 算定式・指標の説明等													
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
		実績		計画		実績		計画		実績		22年度							
指標	活動指標(1)	会	3		4		4		2		2		4	5	40.0	100.0			
	活動指標(2)	件	121		121		120		120		120		120	120	100.0	100.0			
	成果指標(1)	%	100		100		100		100		100		100	100.0	100.0				
	成果指標(2)	%	100		100		100		100		100		100	100.0	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	102,757		238,969		183,336		103,397		54,666		104,872	20年度予算執行率%		52.9			
	(内)投資的経費等	千円	0		0		0		0		0		0	特記事項 平成20年度の実績は、装飾灯建設事業の中止や「街の駅」事業の実施がなかったことから、計画に対し、51.1%にとどまりました。					
	(内)委託費	千円	0		0		0		33		16		33						
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.48	0.00	1.39	0.00	1.51	0.00	0.93	0.00	1.03	0.00	1.03				0.00		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	13,409		12,705		13,801		8,417		9,322					9,322		
		(内)非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0					0		
	総事業費 + +	千円	116,166		251,674		197,137		111,814		63,988		114,194						
	単位あたりコスト (-)÷	円	38,722,000		62,918,500		49,284,250		55,907,000		31,994,000		28,548,500						
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0		0					0		
		国からの補助金等	千円	/		/		/		0		0					0		
都からの補助金等		千円	14,408		37,495		57,097		13,573		1,604		18,400						
その他の補助金等		千円	/		/		/		0		0		0						
特定財源計 + + +		千円	14,408		37,495		57,097		13,573		1,604		18,400						
差引:一般財源 -		千円	101,758		214,179		140,040		98,241		62,384		95,794						
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 92

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		電気料助成	121	団体	35,167
		維持管理経費助成	117	団体	13,619
		下高井戸北口商店会(装飾灯建設)	9	基	3,208
		高円寺谷中通り商店会(装飾灯撤去)	17	基	500
その他( )			2,172		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	商店街のシンボルとして装飾灯は多くの商店街が設置している。また、犯罪が多様化する中で安全・安心のまちづくりの意識が高まっており、商店街の果たす役割がより大きいものとなっており、本事業の重要性が高まっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	補助金の補助割合をアップしてほしい。LED式の商店街装飾灯の設置を推進してほしい。街の駅事業は、維持管理経費を補助してほしい。
	今後の予測	まちの安全・安心に対する意識は、より大きくなっており、その中商店街の果たす役割は重要なものとなっています。その中で街を明るくする装飾灯や事件への抑止効果のある防犯カメラに対する関心は非常に高いものがあります。また、地球温暖化対策として環境に配慮したLED型の装飾灯の設置が進んでいくものと考えられます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	左の理由または具体的内容 商店街装飾灯の建設や維持及び防犯カメラ設置等に対し助成することは、商店会の環境整備に寄与するとともに安全・安心のまちづくりに貢献しています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)		
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	専門家を商店街に派遣し、よりよい計画を作り、少ないコストでより効果の見込めるよう施設整備を実現します。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	施設整備事業は、多額の費用がかかるため、財政状況の厳しい商店街へより多くの負担を強いることは容易ではありません。	
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	施設整備に関しては、機器の費用と工事費が主なものとなっており、コストを下げることは困難です。		

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	装飾灯の整備や防犯カメラの設置により、安全・安心のまちづくりを提供し、より魅力のある商店街を作り出すことができます。ただし、整備に要する費用が多額であるため、整備を推進できない商店街も少なくありません。商店会の環境を長期的に改善するため、計画的に施設整備に取り組みます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 施設整備に関する専門家を商店街に派遣し、アドバイスを受けることにより、より有効的な整備の推進を図るよう努めました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 景気が低迷する中、進んで施設整備を進めていくことが容易ではありません。 装飾灯の建替えだけでなく、改修に関しても積極的に商店街に対し進め、整備が滞らないように進めていきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 景気の低迷や会員の高齢化による閉店などにより、会員数が減少し、商店街の経営状況は厳しい状況にあります。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 装飾灯のLED化を進める商店街が増えることが予想され、工事費の増加が見込まれます。	

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		産業・観光まつり助成			款	3	項	5	目	1	事業	4	整理番号	93		
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	商工係			連絡先電話番号	3078			昨年度整理番号	115 枝番号		
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	47	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等			(1) 地方自治法第232条の2 (2) 杉並区観光事業補助金交付要綱								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	観光事業に要する経費の一部を補助することにより、地元産業の振興を図るとともに、区のイベントから都を代表する全国的なイベントとしてさらなる発展を目指す。			活動指標名(式)			(1) 事務経費補助団体数 (2) 助成事業関連商店街数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	阿佐谷七夕まつりの事業経費の一部補助(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会) 東京高円寺阿波おどり大会の事業経費の一部補助(主催:NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会)			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			成果指標名(1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 観客動員数 東京高円寺阿波おどり大会 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)		団体	2	2	2	2	2	2	2	2	100.0	100.0			
	活動指標(2)		団体	4	4	4	4	4	4	4	4	100.0	100.0			
	成果指標(1)		万人	60	70	60	70	65	70	70	70	92.9	92.9			
	成果指標(2)		万人	120	120	121	121	70	121	121	121	57.9	57.9			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,500	3,605	3,605	3,500	3,500	3,500	20年度予算執行率%			100.0			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.23 0.00	0.20 0.00	0.24 0.00	0.20 0.00	0.25 0.00	0.20 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	2,084	1,828	2,194	1,810	2,263	1,810							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0								
	総事業費 + +		千円	6,584	5,433	5,799	5,310	5,763	5,310							
	単位あたりコスト (-)÷		円	3,292,000	2,716,500	2,899,500	2,655,000	2,881,500	2,655,000							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0							
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0									
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	6,584	5,433	5,799	5,310	5,763	5,310								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 93

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		阿佐谷七夕まつり補助	1	団体	1,500
		東京高円寺阿波おどり大会補助	1	団体	2,000
		その他 ( )			0

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	いずれも商店街の販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、東京都を代表するイベントの一つとなっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	七夕まつりについて、飾りつけのリサイクルが望まれます。 高円寺阿波おどり大会について、ごみ・騒音・交通など住民の苦情があります。
	今後の予測	東京高円寺阿波おどり大会は、週末開催に伴う安全確保のため警備の強化が求められています。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	左の理由または具体的内容 いずれのイベントも区内だけでなく、東京を代表する祭りに発展し、観光・産業の発展に寄与しています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	来場者の増加により、警備費等の開催経費が増加しており、効率化には限界があります。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	いずれも観光への補助事業であるため受益者負担の概念になじみません。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	大規模な祭りへの助成としては少額であり、これ以上のコスト削減は困難です。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	毎年のお祭りを成功に導くために、商店街や住民、行政が一体となり、祭りの企画、運営に取り組んでいます。主催団体をはじめ、警察消防などイベントに関わる他の団体との協働が実現しています。 東京高円寺阿波おどり大会は、観覧客が多く、事故防止の必要性が高まっていることから、保安・警備・環境面に関して総合的に連携していけるよう、主催者の体制の強化とそのため支援が必要です。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 20年度は観客の移動ルートの見直しを行うなど保安関係を重点的に実施しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 主催者や関係機関との協議を進め、保安や環境配慮などの整備をすすめます。	
22年度方針	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 イベントの規模に対し、主催者の組織体制が脆弱です。 区としては主催者に最大限の自助努力を促し、区と主催団体の役割分担を明確にするとともに、適切な助言・指導を行います。	
	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理 由 祭りを観光資源としてPRしていくためには、今まで以上の安全の確保、地域住民への生活への配慮など、主催団体をはじめとするイベント実施体制の整備を行う必要があります。そのため、イベントの安全実施などの経費補助について検討します。	